

2022. 2. 1

第160号



〇いたくら 議会だより



令和3年度板倉町成人式（板倉中学校体育館）

今月の主な内容

- 12月定例会・議案審議 P.2
- 一般質問..... P.5
- 第4回臨時会・常任委員会合同現地視察報告..... P.8
- 請願審査・広報研修会・議会日誌..... P.9
- みんなの声..... P.10

板倉町議会ホームページへ

QRコードを読み込むと議会
ホームページが開けます



教育委員会委員の任命に同意 一般会計・特別会計の補正予算を可決 一般質問に3人の議員が登壇

令和3年第4回定例会が、12月7日(火)から12月13日(月)までの7日間の日程で開催されました。今回の定例会では、同意1件、承認2件、計画の一部改正議案1件、規約の変更に関する協議議案1件、条例の一部改正議案5件、令和3年度補正予算議案4件、請願1件の合計15議案を審議、可決（採択）しました。

人事案件

◆板倉町教育委員会委員の任命について

令和4年3月7日付けで任期満了となる景山初女さんの後任として、虎口沙織さん（朝日野）を任命することに同意しました。

承認議案

◆専決処分事項の承認について（令和3年度板倉町一般会計補正予算（第7号について））

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ357万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ56億7,797万4千円とするものです。

問 針ヶ谷議員

避難所感染症予防対策事業の仮設トイレ購入費400万円について、詳細を伺いたい。

答 根岸総務課長

仮設トイレは現在進めている緊急避難場所2か所での活用を考えています。購入費は1基20万円で20基分を計上しています。

◆専決処分事項の承認について（令和3年度板倉町一般会計補正予算（第8号について））

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4,724万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ57億2,522万円と

問 青木議員

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業の施策業務委託料984万4千円と消耗品費200万円の内容を伺いたい。

答 玉水健康介護課長

施策業務委託料ですが、今後の予約等の対応、受付等の人材派遣の委託料、車がない方の送迎の委託料、県のライン予約システム利用委託料です。また、消耗品費ですが、手袋や消毒用の綿、タオル等の消耗品を考えています。

◆板倉町地域防災計画の一部改正について
都市計画法の一部が改正



され、洪水ハザードマップにおいて、想定最大規模降雨に基づく想定浸水深が3m以上の市街化調整区域内の開発が制限されることとなりました。このため、町内の約9割が市街化調整区域の当時は、大きな影響を受けることが想定されるため、本改正を行うことにより、町民に大きな影響が生じないよう対応を図るものです。

◆邑楽館林医療事務組合規約の変更に関する協議について

令和4年4月1日から邑楽館林医療事務組合の病院事業に、地方公営企業法の



全部を適用することに伴い、同組合が同法の規定により、企業団に位置付けられることから、その名称を「邑楽館林医療企業団」とするため、関係市町が同組合規約



医療事務組合（公立館林厚生病院）は企業団へ

を変更する協議を行うことについて、議会の議決を求めるものです。

◆板倉町税条例の一部を改正する条例について

主な改正の内容は、寄附金税額控除の対象となる寄附金の見直し及び国外に居住している親族の扶養控除の見直しに関する所要の改正を行うものです。

◆板倉町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

主な改正の内容は、未就学児に係る被保険者均等割を減額するものです。
◆板倉町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

主な改正の内容は、産科医療保障制度の掛金が引き下げられても、条例に規定する出産育児一時金を増額すること、出産育児一時金等の支給総額が減らないようにするものです。

◆板倉町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について

主な改正の内容は、群馬県の福祉医療費補助金交付要綱が改正され、重度心身障害者の医療費助成に令和5年8月から所得制限が導入されることとなったことから、本町においても、県の助成基準と同一の基準とするものです。

◆その他の議決議案

○板倉町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例について

補正予算審査

初日の本会議終了後、予算決算常任委員会を開催し、補正予算関係議案4件の審査を行いました。

議案第36号 令和3年度板倉町一般会計補正予算（第9号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4億8,519万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ62億1,041万6千円とするものです。

問 針ヶ谷委員

「野菜王国・ぐんま」総合対策事業補助金344万9千円の減額及びはばたけぐんま担い手支援事業補助金667万1千円の追加について、内容を伺いたい。

答 伊藤産業振興課長

「野菜王国・ぐんま」総合対策事業補助金の減額につきましては、群馬県の採択の時期と申請者のハウスを建てる時期が合わないという事で辞退されました。また、はばたけぐんま担い手支援事業補助金の追加ですが、コンバインの購入が2件、農業機械の導入で麦の施肥と種播機の購入で3件となっています。

問 市川委員

障害者自立支援事業給付費負担金の追加について、事業所のコロナ対策は万全か。また、増額の理由を伺いたい。

答 小野寺福祉課長

事業所のコロナ対策ですが、万全な対策を取りながらサービスを実施しています。また、増額の理由ですが、重度訪問介護が1人から2人の利用になったこと、今後の施設入所支援の推計、グループホーム等の利用者増加による増額等により、2千万円を増額しました。

問 黒野委員

町内遺跡確認調査事業29万7千円の追加について、増加した件数と事業の内容を伺いたい。

答 多田教育委員会局長

当初予算では確認調査4件分を計上していますが、現時点で3件を実施し、残り1件分となったため、現在予約のある3件分を追加

してまして、全体で7件分とするものです。事業の内容は全て太陽光発電施設予定地の調査です。

問 延山委員

街路樹管理委託料300万円の追加について、内容を伺いたい。

答 高瀬都市建設課長

今回の補正につきましては、街路樹管理業務の増加ではなく、本予算の他事業への流用により不足の生じた委託料を追加するものです。流用の理由といたしましては、緊急で対応する必要がある舗装修繕工事が発生し、当該工事の予算が不足したため、工事請負費に流用をしたものです。

問 青木委員

子育て世帯への臨時特別給付金給付事業8,610万7千円の追加の内容と、16歳から18歳の対象者、所得制限についてはどのような手続きになるのか伺いたい。

答 小野寺福祉課長

追加の内容ですが、国において15歳までの子どもに対し5万円の現金給付が決定したことから、年内に支給する必要が生じたため補正をするものです。また、16歳から18歳につきましては、来年になります。申請をしていただき、所得制限以下であれば支給となります。

問 針ヶ谷委員

小中学校ICT支援員業務委託料35万円の追加の理由と委託の内容を伺いたい。

答 多田教育委員会局長

タブレット及び電子黒板の効果的な活用に向けて、教員たちがこれまでの課題を持ち寄り解決するため、



1人ないし2人の支援員が学校に出向き、課題解決の支援を行うというものです。業務は業者委託とし、3校で計10回分です。

議案第37号 令和3年度板倉町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算に歳入歳出それぞれ358万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億7,654万3千円とするものです。

議案第38号 令和3年度板倉町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算に歳入歳出それぞれ1,839万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ20億447万2千円とするものです。

問 青木委員

諸収入の国保連合会保険給付費等交付金普通交付金余剰金清算金718万1千円の追加と諸支出金の保険給付費等交付金返還金718万1千円の追加の関

答 小野寺福祉課長

諸収入の清算金は3月分の保険給付費が確定しない時点で国保連合会に概算払いした後、額が確定し余剰金が発生したため返還されるものです。諸支出金の返還金はその余剰金と同額を群馬県に返還するものです。



議案第39号 令和3年度板倉町下水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算に歳入歳出それぞれ324万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2億722万9千円とするものです。

◆なお、補正予算については、12月8日の本会議において全会一致で原案どおり可決となりました。

一般質問

議会2日目 12月8日(水)



森田 義昭 議員

岸田新政権について
コロナ対策について
いじめについて

岸田新政権について

問 岸田総理への期待は。

答 町長 人の声を良く聞いて、そして決断が早い。トップとしての腹構えもしっかりし、責任も最後は私が取るというようなことを含め、芯の強さも一応感じている。正直な方ではないかと、期待したいというふうに思っている。

コロナ対策について

問 新型コロナ感染で影響を受けた店舗への支援について、どのような補償をしたのか。

答 産業振興課長 新型コロナ

問 ワクチン接種、3回目の具体的な計画を伺いたい。

答 健康介護課長 国の方では、4月に2回目の接種が済んだ方から順次始めるといって、12月より接種が開始になっています。当町においても、11月下旬にまず、4月に接種が済ん



だ方に接種券を発送し、その方たちがおののの勤務先等々での接種が始められている状況である。

問 ワクチン接種の低年齢化については。

答 健康介護課長 11月下旬に国の方からの説明会があった。国の方針ということで、5歳から11歳については、ワ

クチン自体の薬事承認が出てないということで、承認が決定次第進める予定である。

問 コロナに感染したら。

答 健康介護課長 まずは自分のかかりつけ医に相談することである。



いじめについて

問 タブレットによる「い

じめ」について、使用にあたってのルールがあるのか。

答 教育委員会事務局長 5つほどある。他人に貸したりしない。IDやパスワードは教えない。他人のIDやパスワードは使用しない。自分の個人情報、書き込まない。最後に相手を傷つけたり、嫌な思いをさせたりしない。児童生徒にこのルールを守るように指導している。



問 いじめをなくすためには。

答 教育長 誰か助けてほしいというような声をあげる、それをしっかりと受け止める。教員との信頼関係である。

一般質問

議会 2 日目 12 月 8 日(水)



針ヶ谷 稔也 議員

SDGs 達成に向けて コロナウイルスワクチン接種に ついて 地域の安全性の確保について

令和4年度予算編成に向けたSDGs（持続可能な開発目標）への取り組みについて

問：事業とSDGsとの関連付けに留意しているのか。

答：企画財政課長 現在実施計画における全261事業のうち225事業がSDGsと関連づけて推進している。令和4年度も精査し、基本総合計画での位置づけ、関連性、結果等を検討している。

問：ペーパーレスへの取り組みは進めないのか。

答：総務課長 平成20年度から電子文書管理シス

テムを活用して電子決裁を実施している。県等からの文書、職員の起案を含め約75%が電子文書化している。議会等でのタブレットを利用したものはメリット・デメリットを含め検討していく段階にあると考えている。邑楽町では議会改革の一環で、昨年8月からタブレット導入が議論され、

問：申請用紙等での性別確認は廃止できないのか。

答：総務課長 国、県等でもそのような動向になっているのは承知している。業務上性別情報が必要かどうか、合

理的な理由があるかどうかなど注視しながら検討する。

コロナウイルスワクチン接種について

問：3回目の接種について、どのような計画になっているのか。

答：健康介護課長 1月より医療従事者から順次実施する。住民に対しては期日指定の通知を発券し、都合の悪い方のみコールセンターで変更いただく。接種方法は集団接種で行う。薬剤はファイザー社を予定。モデルナ社ワクチンは承認が決定すれば重症な副反応が懸念される若い世代には選

択できるよう配慮する。18歳未満への接種は計画されていない。

問：1、2回目の接種が終わっていない人への対応は。

答：健康介護課長 新たに12歳を迎える方には誕生日にまとめて接種券を発行する。12〜17歳の方は町の指定医療機関で1、2回目を個別接種していただく。18歳以上で1、2回目の接種が終了していない方にも同様に個別接種の方向で医師会と調整中である。

問：町主催の行事や会議への参加者への対応はどうしていくのか。

答：総務課長 県のガイド

ラインに則して、今まで通り間隔の確保、マスクの着用、手指消毒などの基本的な感染防止対策に加え、室内換気を施して開催する。

地域の安全性の確保について

問：町内の防犯カメラ設置の状況と今後の対応はどうなっているのか。

答：総務課長 今年4月1日時点で板倉町49基、明和町130基、千代田町42基、大泉町72基、邑楽町80基、館林市100基設置済みである。今年度は4基の増設を予定。関係機関や住民と環境、プライバシーに考慮して検討し取り組んでいく。



一般質問

議会 2 日目 12 月 8 日(水)



小野田 富康 議員

コロナ禍における町内産業の実態は 特定地域づくり事業協同組合に ついて (株)グリーンファームの進出について

コロナ禍における町内産業の実態について

問：町が把握している商業・工業・農業への影響は。

答：産業振興課長 コロナの影響による倒産・廃業については把握できていない。しかし国・県・町独自の支援策により倒産廃業は一定程度抑えられている。

問：今まで町として行ってきた支援策と今後の町独自の支援策は。

答：産業振興課長 町内の中小、個人事業者、農家を対象とした板倉町事業継続支援給付金、テイクアウト実施店



ストップコロナ!対策認定店ステッカー(見本)

ストップコロナ!対策認定店への助成金支給を行ってきた。農業者に対しても収入保険の加入者を対象に支援を行う計画である。

問：他自治体ではプレミアム率60%の商品券の配布や一人一万円分の商品券の配布を行っている所もある。当町では考えていないのか。

答：産業振興課長 慎重に検討していきたい。

特定地域づくり事業協同組合について

問：この制度は農業等の担い手が減少している中で有効な制度だと思いが、町内で設立の動きはあるのか。

答：企画財政課長 今のところは聞いていない。

問：町への移住・定住・農業を含めた産業の維持についても必要と考える。町としてサポートはできないか。

答：企画財政課長 県内の上野村、嬬恋村等の先進事例をまずは見てい

きたい。

(株)グリーンファームの進出について

問：現在町として把握している情報は。

答：産業振興課長 営農計画によるとイチゴの施設栽培を行うとのこと。海老瀬地内において3,100㎡のハウスを2棟年内に着工するとのこと。今後は年に6,200㎡ずつ増やしていく、令和6年には1万8,600㎡にするという計画になっている。

問：2か所目、3か所目までの進出はすでに決

まっているのか。また雇用についてはどうなのか。

答：産業振興課長 予定についてはまだ決まっていない。雇用については高齢者を中心に地域雇用を図るとのこと。計画では15人。

問：町に人を呼び込むような観光農園的なことは考えていないのか。また今後の動静についても発信していただきたいが。

答：産業振興課長 将来の10年計画の中で観光農園的なもの、地域貢献できるようなものもやっていきたいと聞いている。



着工した(株)グリーンファームの営農農地

第4回臨時議会



令和3年12月20日(月)、臨時議会が開かれました。子育て世帯への臨時特別給付金については、12月定例会で年内5万円給付分の補正予算を可決しましたが、本臨時議会では10万円一括給付した場合の不足分と所得制限を撤廃した場合の予算として、歳入歳出それぞれ9,857万5千円を追加する(総額を歳入歳出それぞれ63億899万1千円とする)一般会計補正予算議案を全員一致で可決しました。

問 青木議員

だし、所得制限以上の対象世帯への支給の有無については、近隣の動向を見て最終的に判断します。

答 栗原町長

郡内でもまだそのような考えの自治体はありません。当面は提案した方向で予算措置をし、東毛も含め見渡した流れの中で判断をしながら、もし使用しなかった場合は、不用額として戻すということ前提に予算措置をお願いしているところです。

問 小野田議員

所得制限の撤廃は、いつ頃決まるのか。

答 小野寺福祉課長

いつ決まるのかは、今のところ決まっています。

※質疑の後、亀井議員から賛成討論がありました。

答 小野寺福祉課長

同額で考えています。た

請願現地調査



請願路線位置図

会最終日に小林武雄委員長から報告され、全員一致で採択されました。

◆町道2-41号線の拡幅整備について

請願者 第11、12、13、14、15行政区長

委員長報告要旨 大型車を含

む車両の往来が多く見受けられ、中学生が通学路として使用するには、交通事故発生危険性があることから、歩道若しくは自転車通行帯を整備することにより、安全性の向上が図られるものと思われる。よって、願意を妥当と認め、採択すべきものとする。

お知らせ

◆議会報告会を中止します

町民の皆様が開かれた議会を目指し、年1回開催しておりました議会報告会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度に引き続き中止としました。

◆令和3年度町議会視察研修予算を新型コロナウイルス対策事業費へ

新型コロナウイルス感染症による町民生活や地域経済への影響が深刻化する中、より一層の支援策の充実が必要です。町議会ではその財源を確保するため、令和3年度中の公費負担を伴う視察研修は中止とし、視察研修経費として計上した予算は町に返還することとしました。

○視察研修の中止に伴う予算額 93万5千円(内訳 議員研修旅費31万5千円/議員研修補助金48万/町議会議員研修会事務局職員負担金14万円)

常任委員会合同現地視察レポート 学校におけるICT機器の活用状況を視察

総務文教福祉 産業建設生活



体育館でのマット運動(3年生)



社会科の授業風景(5年生)

新型コロナウイルス感染拡大により、町内小・中学校の令和2年度は休校の状態開幕を開けた。児童生徒の修学環境整備のため国は一人一台の端末の配布を行った。休校中でもオンラインによる授業を可能にするためである。本町でもタブレット型(キーボード付)端末の貸与と通信環境の整備に取り組んだ。加えて、電子黒板も各教室に配置された。学校や各家庭の通信状態が確認でき、10月からは端末の持ち帰りが許可になった。諸々説明を受けてきたが、理解しづらい面もあり「百聞は一見にしかず」との考えから11月16日東小学校において現地視察を実施した。

当日は3年生の体育と5年生の社会を視察させていただいた。体育の授業ではマット運動「前転」の授業が体育館で行われた。自分や友達の演技を撮影し、良い点・悪い点への意見交換をし、改善を図っていた。小学3年生がいとも容易く動画を撮

影していた。社会の授業では「工業生産を支える輸送と貿易」という単元で、エネルギー発電の実際とこれからについて授業が展開された。教科書・黒板・プリント・タブレットそして電子黒板。これらのツールを活用して教師は子供たちの理解を深める授業を展開していた。子供たちも戸惑うことなく器用にそれぞれを活用していた。問に対する答えは「ロイロノート」という機能を使い電子黒板へ反映され、自分以外の人の意見も確認できる仕組みになっていた。

通信機能を学校教育に取り入れることはGIGAスクール構想として文部科学省が2023年度からの導入を予定していた。しかし新型コロナウイルスの感染拡大により、前倒しで導入された。これにより現場では準備に時間が無く、手探りで始まった感が否めない。「主体的・対話的で深い学び」を実現するために研修や意見交換を行い、ICT機器を駆使した授業実践が求められる。心配をよそに子供たちは自由に機器を操作し、先生方にもご対応いただけていると認識した。ご協力いただいた教育委員会、東小学校の校長・教職員の皆様に感謝申し上げます。

(総務文教福祉常任委員長 針ヶ谷稔也記)

研修レポート

群馬県町村議会 広報研修会

令和3年11月18日(木)、群馬県市町村会館において、群馬県町村議会議長会主催の議会広報研修会が開催され、新型コロナウイルス感染防止対策による人数制限のため、広報委員長のみが出席しました。研修会では「住民に読まれ議会活動が伝わる」議会広報の基本と編集」と題して、議会広報サポーターの芳野政明氏が講演されました。講演では「読まれ伝わる広報」について、見出しと写真の効果的な使い方や記事を正確で簡単に伝える方法をお話くださいました。



議会日誌

11月

- 4日 邑楽館林医療事務組合議会議員懇談会
- 8日 議員のみ協議会
- 12日 一部事務組合議会11月定例会
- 13日 ダイヤモンド婚式・金婚式合同記念式典
- 15日 町防災会議
- 16日 常任委員会合同現地視察/邑楽郡町村議会議長会臨時会
- 18日 群馬県町村議会議長会広報研修会
- 19日 議会運営委員会/全員協議会/全員協議会(議員のみ)
- 24日 館林衛生施設組合例月出納検査
- 25日 群馬東部水道企業団全員協議会
- 29日 町戦没者追悼式

12月

- 7~13日 令和3年第4回定例会(本会議・一般質問・各常任委員会)/議会運営委員会/議員のみ協議会/議会広報特別委員会
- 20日 令和3年第4回臨時会
- 22日 利根川新橋建設促進協議会群馬県要望
- 24日 利根川新橋建設促進協議会埼玉県要望
- 28日 板倉消防団歳末警戒督促

1月

- 8日 館林地区消防組合消防隊出初式
- 9日 板倉町成人式
- 14日 議会広報特別委員会
- 18日 邑楽郡町村議会議長会臨時会/邑楽館林医療事務組合議会議員研修会
- 21日 議会運営委員会/全員協議会/全員協議会(議員のみ)
- 23日 文化財模擬火災訓練
- 26日 後期高齢者医療広域連合議会説明会
- 28日 板倉町一般廃棄物処理対策委員会

コロナ禍でも地域の
つながりを大切に
健康で笑顔の町に

金子颯汰さん
(板倉中学校2年)



板倉町に住み始めて、ちょうど10年。私は板倉町が大好きです。豊かな自然に囲まれながら、のびのびと楽しく生活できます。そして、ラムサール条約に登録されている渡良瀬遊水地や、長い歴史を持つ雷電神社などの文化遺産もあり、私はこの町を心から誇りに思っています。しかし今、新型コロナの影響で地域での交流の機会が減り、町民一人一人の体を動かす機会も少なくなっているように感じます。そこで私の提案は、朝のラジオ体操&ウォーキングを地域ごとに定期的に行うことです。そうすることで、運動不足が解消でき、地域のつながりを作ることができます。そして、屋外で行うことができるのでコロナ対策にもなります。このような取組を通して、どんなときでも町民同士でお互いを支え合えるような、明るく笑顔あふれる町になることを心から願っています。

みんなの 声



佐藤奨二さん
(大字岩田)

GIGAスクール構想
の充実について
学びの場に革新を

板倉町においてはGIGAスクール構想に基づき小中学校の児童・生徒に対して一人一台のタブレット端末が配布されました。それに伴い、家庭学習補助ツールとしてのオンライン教材の提供、ならびに通常授業時におけるタブレット端末の利活用など、ICTを活用した教育が実現されています。また、感染症流行時等におけるオンライン授業開催の検討もされており、いかなる状況においても教育の場の継続性が担保されることは子どもを持つ親として非常にありがたいと思っています。今後は学校教育におけるプロセスを単にアナログからデジタルに置き換える施策に留まることなく、GIGAスクール構想を充実させ、さらなるICTの活用によりカリキュラムや学習の在り方を革新し、多様化する児童・生徒一人一人のニーズを捉えた公正に個別最適化された学びの場の実現を希望します。

編集後記

新しい一年が幕を開けました。今年も昨年と同様、皆様方の関心事は、コロナ感染でしょうか。なかなか終息が見えてきません。もちろん、ワクチンとか薬とか、世界中で対策は取られています。感染も強いし、新しいコロナの発生などで、人々が安心しての所まで達成していません。マスク等でも毎日のように情報が流れています。やはり、マスク、換気、手洗いは、欠かせないのでは。正しい情報を、正しく把握して、正しく判断をしていく。重要な事だと思っています。一人ひとりができる事をきちんとやっていく。そして新しい年、皆さんと一緒に過ごしていきます。当町も万全の備えは、怠りません。

(議会広報特別委員 森田義昭記)

『傍聴して町政を知る』

だれでも簡単にできます 議会傍聴

議会の本会議は公開制となっています。会議当日、受付票に記入していただくだけで、どなたでも自由に傍聴することができます。

◆3月議会定例会(予定)

- 会 期** 3月9日(水)～3月18日(金)
議 事 (1)条例改正などの議案審議・採決
(2)一般質問
(3)令和4年度予算審議・採決

※会期等が変更となる場合もあります。

※詳しい日程等については、後日議会のホームページでお知らせします。

お問い合わせ先

議会事務局 TEL.82-1111 (内線701)
TEL.82-6154 (直通)